

2021年4月25日

# アイセック ISECE ニュースレター

こんにちは！今月もアラスカインターンの様子をお届けします！また、先月末にはインターンが1名、無事に帰国しました。半年間という短い期間でしたが、コロナ禍という前代未聞の状況がインターンに教えてくれたことは何だったのでしょうか。是非体験談をご覧ください！

## 今月のインターン活動内容

インターンに任せていただけるお仕事が多くなりました。基本的に午前の授業はメンターの先生が担当し、午後の授業はインターンが担当しています。また、日本語イマージョンプログラムがない市内の中学校から漫画についてのZoomセッション依頼があり、ゲストスピーカーとして参加しました！

SEL(Social and Emotional Learning)の授業の中で『世界に1つだけの花』を使い、自尊心や多様性について勉強しています。生徒はこの歌が大好きで、ランチの時間や下校の準備の時間に、『オンリーワン〜ききたい!』とよく言っています！



## 日本語イマージョンプログラムへの貢献

### Kanji Project

コロナ禍でも日本語イマージョンプログラムのために、何かできることはないか、という発端から漢字プロジェクトが始動。参加者一人一人とZoomでお話し、漢字の名前を決め、ポストカードに習字で書いてお送りしました。日本語イマージョン校に通う方だけでなく、日本文化に興味のある方にも多く参加していただき、大変好評でした。



## インターンを終えて

### アラスカでインターンとして過ごすことができたのは、間違いなく一生モノの宝物です！！

世界が大変な時にアラスカへ行き、楽しいことばかりではなく、苦しいことも沢山ありました。しかし、後悔は全くしていません。コロナ禍で思い通りにいかず不安でストレスを感じても、それ以上に行く価値のある学び深い体験ができたからです。英語だけではなく、小学生に対するオンラインでの授業の仕方、対面での生徒への配慮の仕方、指導や授業の行い方、日米の文化の違いを学んだり、自分自身の成長に繋がる経験ができたし、知らない世界を知ることができて、早くこれから日本で担任を持つ児童たちに伝えたいと意欲が増しました。

### ～～～ホストファミリーとの時間～～～

アメリカの“家族との時間を大切にす文化”が良いところだと思いました。日本ではテレビを見ながらの食事が多かったのですが、アメリカでは夕食時に今日の出来事を共有して家族の時間を設けます。あとは、一軒目のファミリーがキリスト教だったので、宗教に関して少し学ぶことができました。日本にいたとなかなか普段考えないことだったので、神やキリスト教に対する理解が深まりました。二軒目のファミリーは、映画を観るのが好きなのでアメリカのポップカルチャーを知ることができたし、良い英語の勉強にもなりました。



### ～～～最後の授業～～～

最終日はメンターの先生が不在だった為前日に引継ぎをし、メインで授業をしました。メンターの先生がいないことで生徒たちが話を聞いてくれるか心配でしたが、思いの外生徒たちは落ち着いて静かに授業を受けていました。生徒とのお別れに、折り紙で作ったメダルとプレスレットを贈りました。一人一人に手渡ししながら、生徒も別れを惜しんでいる様子で悲しくなりそうでしたが、その日はメインティーチャーという大役に緊張していて、無事に終えたことにホッとした気持ちが大きかったです！

アラスカで生活した時間を大切に、これからもういっしょをつないで欲しいと思います。お疲れ様でした！ From ISECE



ISECE

International Society of Educational and Cultural Exchange Inc. Foundation

Email yamabayashi@isece.jp [ Nobue Yamabayashi / U.S. Representative ]

Head Office Information Address Tosyo Bldg. 1F 3-16-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 JAPAN

Email info@isece.jp Tel 81-3-3267-2224 Web http://www.isece.jp/ Facebook https://www.facebook.com/isece

発行者: Saori Yamanaka